

2021年3月11日

富士山静岡空港と日本大学国際関係学部・短期大学部(三島校舎)が基本協定を締結

～人材育成、教育活動、空港利用促進及び地域活性化に関する包括的産学連携協定～

2019(平成31)年4月1日より新体制で運営を開始した富士山静岡空港株式会社(静岡県牧之原市、以下「空港会社」と)と日本大学国際関係学部・短期大学部(三島校舎)(静岡県三島市、以下「日本大学国際関係学部」)は、本日包括的連携に関する基本協定を締結致しました。

この基本協定は、双方の資源や機能等を有効に活用することにより地域に即した空港づくりと人材の育成に寄与することを目的としています。

空港会社は日本大学国際関係学部と連携することにより、静岡県東部地域を中心とするキャッチメントエリアへのアプローチを強化するとともに、若年層からの富士山静岡空港に対するニーズ捉え、より早的確にお応えできるようになるものと確信しております。

また日本大学国際関係学部は、本協定により空港会社協力のもと、富士山静岡空港現地をはじめとする様々な現場での実践的な教育活動を実施してまいります。この活動は、観光教育研究への寄与、そして次世代の観光人材育成への貢献という点で、非常に意義深いものと感じております。

取組の第一弾として、日本大学国際関係学部学生による、「静岡県東部地域に居住又は通学する学生に対する富士山静岡空港の認知度及び利用状況等調査(2020(令和2)年11月実施)」をもとにした、空港会社への「富士山静岡空港の若年層利用促進策」の提案を2021(令和3)年3月16日に予定しております。それを踏まえまして、今後、具体的な富士山静岡空港の利用促進施策を学生が主体となって行なってまいります。

富士山静岡空港株式会社と日本大学国際関係学部・短期大学部(三島校舎)は、これからも様々な取組みで静岡県の観光振興に尽力してまいりますのでご期待ください。

【空港会社の取組み】



(株)フジドリームエアラインズ×大井川鉄道(株)×富士山静岡空港(株) 3社連携フライトツアーの開始
2020年 第6回「ジャパン・ツーリズム・アワード」入賞

夜明けの空港滑走路を散歩する『ランウェイウォーク』の実施(2020年9月実施)。日帰りコースのほか、大井川鉄道のSL乗車や日本平周辺散策を含む宿泊コースも販売。

グランドハンドリングスタッフの業務紹介や、場周道路や給油施設など通常立ち入ることのできない空港の裏側を見て回る『空港見学ツアー』の実施(2021年3月)。

【日本大学国際関係学部】



日本大学国際関係学部は、1979年にグローバリゼーションの本格的な到来を見通し、日本で最初の国際関係学部として創設されました。国際関係学部では、日本大学の教育理念「自主創造」のもと、広く知識を世界に求める人材の育成を目的としています。

本学部の目指す教育は、自らの価値を高め世界で活躍できるように、学生一人ひとりの、知りたいという好奇心、学びたいという探究心に応えます。そこで得た問題解決能力及びコミュニケーション能力は、複雑化する国際社会において、文化の違いや利害関係を乗り越え、様々な人や組織の協働を促します。世界の多様な民族、言語、宗教、文化、社会、環境などをグローバルな視点で学びたい人を広く求めます。